

「私の夏プロジェクト」(探究的な学び)に挑戦

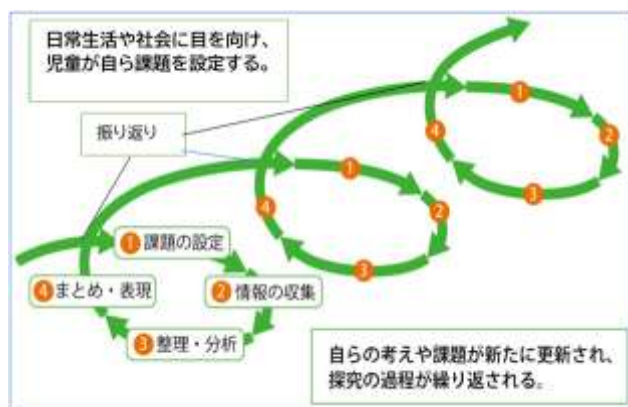
日頃より円山小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき大変感謝しております。ありがとうございます。今年の夏休みは昨年同様に各自が「私の夏プロジェクト」(探究的な学び)に挑戦してほしいと考えています。今年で3回目となる夏休みの挑戦は、更にパワーアップした取り組み方になることを期待しています。

1 なぜ今「探究的な学び」なのか

近年、グローバル化や人工知能の活用などの技術革新が加速度的に進んでいます。そして今後も激しい変化はさらに進むと思われます。現代社会では、将来何が起こるのか世の中がどうなっていくのか誰も分かりません。こうした社会の中で、子供たちの学びも進化を求められています。社会の激しい変化に主体的に対応し、自ら課題を見つけ、考え、決断し、自分の道を自分で切り開く力の育成が必要です。

学習指導要領ではこの力をより育むことを目指しており、「探究的な学習」という言葉が繰り返し使われています。探究的な見方・考え方を働かせながら、これからの時代を生き抜くために必要となる「生きる力」を身に付けるための学び方が「探究的な学び」なのです。

2 探究的な学びとは



探究的な学びとは、①「問いをもつ」→②「調べる」→③「深める」→④「まとめる・表現する」を繰り返すことで、新たな課題や思考が更新され続ける課題解決型の学習です。

たった1ヶ月ほどの夏休みなので、①から④までを経験できれば100点満点です。

これまで探究的な学びに取り組んできた中で、書籍やインターネットなどから知り得たことを、そのまま書き写したり発表したりする姿が見られ、「情報を正確に読み取る」「言葉の意味を理解する」ことなどに課題があること

が見えてきました。そこで今年は、「情報を読み比べる」「わからない言葉の意味を調べる」「自分で試してみる」などして、学びを一層深めたり確かなものにしたりしてほしいと考えています。

3 子供自身が自分の適性に応じて学びを選択できる夏休みの課題へ

「自分の適性」とは・・・

- ・ 学習内容によるもの (漢字、計算、体力づくり、リコーダー・・・)
 - ・ 興味・関心によるもの (絵をかくのが好き、虫が好き、鉄道が好き・・・)
 - ・ 自分の生活環境によるもの (塾、習い事、スポーツ少年団・・・) など
- これらに応じて、「自分にあった課題を考え」「決定し」「やりぬく。」

4 課題とゴール

<課題例>

- ・ 災害に強い円山地区にしたい
- ・ いろいろな虫を調べたい
- ・ 家庭科で学習した裁縫で何か作りたい

<ゴール例>

- 安全マップづくり
- 昆虫採集や標本づくり
- 洋服作りやパッチワーク

・理科で学習した月や星の動きを調べたい	→	方向や高さ、時間等をまとめる
・生活で育てたアサガオの観察を続けたい	→	観察日記を毎日つける
・泳げるようになりたい	→	25mを泳ぎ切る
・新幹線延伸を機に鉄道について知りたい	→	鉄道を徹底調査
・この暑さに我慢できない	→	地球温暖化やその対策について調べる
・総合的な学習での課題が進んでいない	→	取り組みをさらに発展・追究する
・家の畑の野菜を使って料理を作りたい	→	オリジナル夏野菜レシピ本作り
・円山地区のことをもっと知りたい	→	円山地区の歴史を年表にする
・みんなで遊べるものを作りたい	→	円山地区を題材にした「かるた」作り
・長い夏休みだからできることをしたい	→	読書〇〇冊読破や読書感想文

※自分の課題を見つけられない場合は・・・

- ・図工や作文等の作品コンクール一覧表の中から、やりたいものを選んで作品を仕上げる。
↑これでも十分やりがいがあります。

※課題設定のヒントは、テレビや日常生活にもあふれています。課題設定自体も楽しめると良いですね。

5 夏休みの宿題の組み合わせ例

パターン1：自分の課題を徹底追究

パターン2：自分の課題＋夏休みの友

パターン3：自分の課題＋作品コンクール選択

パターン4：自分の課題＋問題集（プリント類）等

発達段階によって無理なく学習できるように、学年によってパターンが違います。

詳しくはおたよりや懇談会でご確認ください。

6 お願い

※①課題によっては、保護者の方の協力を必要とするものもあるかもしれません。お子様と一緒に夏の計画を早めに相談しながら進めていただけるとありがたいです。

※②夏休み中に課題が達成できるか（ゴールにたどり着けるか）は重要なポイントの一つです。満足感や達成感を味わえるように、難しすぎる場合はアドバイスしていただけるとありがたいです。

※③成果物がある場合は、夏休み明けに是非学校へ持たせてください。

※④課題に決まりはありませんが、★自分の学びや成長になることや★人のために役立つことだと、課題に対する追究意欲が持続しやすいと思われます。

※⑤★学びや成長を振り返ることができるように記録や成果物に残すことや★自分の学びや成果を自己評価して残すことは、探究的な学びの4つのサイクルの内の1つであり、学びを深める大切な要素となるので、学校でも取り組むように指導します。

※⑥夏休み明けには、学年に応じて「『私の夏プロジェクト』プレゼン」を計画しています。自分のやり抜いた課題をプレゼン（発表）することで、友達の頑張りや良さ、知らなかった一面などを知り認め合える場を設定します。

※⑦「私の夏プロジェクト」では、★自分の課題に向かって主体的に取り組む ★柔軟な発想で自分だけの課題にチャレンジ する姿が見られることを期待しています。

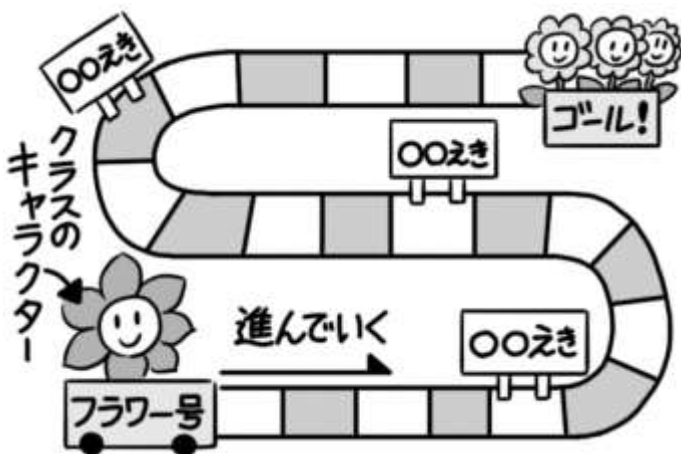
【6月29日発行の学年便りに載せる文面】

＜学年だより＞

今年の夏休みの宿題は、昨年同様どの学年も「私の夏プロジェクト」（探究的な学び）に取り組みます。自分の課題を各自が設定し、夏休み期間を使って取り組みます。課題によっては、保護者の方の協力を必要とするものもあるかもしれません。お子様と一緒に夏の計画を早めに相談しながら進めていただけるとありがたいです。「私の夏プロジェクト」（探究的な学び）取組の理由や取り組み方等については6月19日発行の学校だよりに掲載してあります。ご質問等があれば、懇談会や連絡帳にてお伺いします。どうかご理解とご協力をよろしくお願いします。

【以下は学年主任に例として提示】

＜低学年の課題例＞



パズル作り ビンゴ作り すごろく作り 段ボール工作

ペットボトル工作 ストロー工作 アイディア貯金箱 など